

# 第20回全国キリスト教学校人権教育セミナー

## ご案内



**日時：2009年8月6日（木）～8日（土）**

**会場：女子学院会館（6日）、在日本韓国YMCA（7～8日）**

主催：全国キリスト教学校人権教育研究協議会、第20回全国キリスト教学校人権教育セミナー実行委員会

後援：カトリック中央協議会 学校教育委員会、キリスト教学校教育同盟、キリスト教保育連盟、  
全国在日外国人教育研究協議会、日本カトリック学校連合会、日本キリスト教協議会教育部

## 第20回全国キリスト教学校人権教育セミナーへ参加を

全国キリスト教学校人権教育セミナーは今年で20回を迎えます。

カトリック学校連合会、キリスト教学校教育同盟をはじめ多くの諸団体の後援、賛同を得て、20回を重ねることができ感謝しています。昨年は「子どもの声が届いていますか」を主題に、子どもたちの切実な思いに気づくことによって大人が変わることがいかに大切か学びました。

今年は「未来に希望、現在に勇気」を主題に8月6日(木)～8日(土)、三日間の日程で、一日目は麴町の女子学院、二、三日目は水道橋にある在日本韓国 YMCA を会場にして開催されます。

一日目は、開会礼拝後、昨年のプログラムでも好評であった「青年たちの証言」を聞き、夜は人権セミナー20年の歩みをふりかえります。

二日目は、「なぜキリスト教学校で人権教育が必要か」という講演を聞いて、その後、恒例のセミナーのメインプログラムであるフィールドワークに出かけます。5つのコースのフィールドワークと、1つの室内分科会です。そして夕方より、「目覚めよ」と題して辛淑玉さんから特別講演を聞き、その後、参加者との交流のひとつときをもちます。

三日目は、参加者の発言を中心に、人権教育のこれからについて意見交換する全体集会を行ない、最後に派遣礼拝をもってセミナーを閉じます。

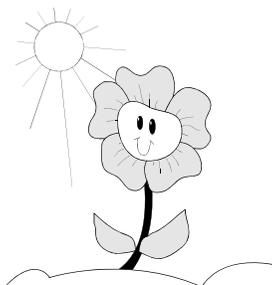
これからの全国セミナーを担う若い世代とともに、人権教育の課題を考え、私たちの思いと願いを全国のキリスト教学校に発信するセミナーとなるように願っています。

実行委員長 本田栄一

### ●開催の目的●

- ①キリスト教学校および公立学校で人権教育に関心を持っている教職員、また人権教育に関心を寄せるキリスト者・市民・保護者・学生の出会いの場をもつ。
- ②人権教育の実践に学び合い、分かち合い、建設的な関係を築く。
- ③キリスト教学校での人権教育のあり方を探求し、人権教育の広がりを作る。

**賛同：**外登法問題と取り組む全国キリスト教連絡協議会／日本カトリック正義と平和協議会／日本カトリック部落差別人権委員会／在日本韓国 YMCA／在日韓国人問題研究所／在日大韓基督教会／日本キリスト教協議会在日外国人の人権委員会／日本キリスト教協議会部落差別問題委員会／日本基督教団在日韓国・朝鮮人連帯特設委員会／日本キリスト教団部落解放センター／日本キリスト教婦人矯風会平和部／日本バプテスト同盟／日本バプテスト連盟日韓・在日連帯特別委員会／日本バプテスト連盟部落問題特別委員会／日本聖公会人権担当／日本YWCA／部落問題に取り組むキリスト教連絡会



## 第20回全国キリスト教学校人権教育セミナープログラム

<b>1日目 8月6日(木) 場所：女子学院会館&amp;女子学院講堂</b>		
13:30～	受付開始 (荷物置き場有り)	女子学院会館 1階
14:00	開会礼拝 (大嶋果織さん)	女子学院講堂
14:30	挨拶 第20回セミナー実行委員長	
15:00	全体会① 青年たちの証言 ※手話通訳があります。 「わたしの思い、今ことばにできること 2009」	女子学院会館地下ホール
17:00	夕食&自己紹介	
18:30	全体会② 全国セミナー20回を記念して 「私たちが学びつつ目指すもの」	
20:00 ～20:15	オリエンテーション	
<b>2日目 8月7日(金) 場所：在日本韓国YMCA</b>		
9:00 ～10:00	朝の祈り (ビセンテ・ボネットさん) 全体会③ 「なぜキリスト教学校で人権教育が必要か」 (ビセンテ・ボネットさん)	9階ホール
10:15 ～16:30	フィールドワーク出発 《コース》 ①と畜と私達の暮らしから考える東京の部落差別問題 ②東京で在日コリアンのルーツ/ルートをたどる ③多磨全生園とハンセン病資料館 ④江戸から現代まで、ヘテロセクシュアル、ホモセクシュアル、トランスジェンダーが織りなす新宿、性社会史ツアー ⑤DV、セクハラ of 土壌としての管理教育を考える ⑥差別体験授業ワークショップ (室内分科会) *⑥は室内のため13時～15時です。	
17:00	特別講演「目覚めよ！」(辛淑玉さん) ※手話通訳があります。	9階ホール
18:30 ～20:00	夕食・交流会  夜の部 (自由参加)	9階ホール
<b>3日目 8月8日(土) 場所：在日本韓国YMCA</b>		
9:00	朝の祈り・証言 (佐藤美和子さん)	9階ホール
9:30	全体会④ 「これからどうする・参加者の声」	
11:00	派遣礼拝 (関田寛雄さん)	
12:00	昼食 (お弁当とお茶を用意します)	
13:00	(セミナー終了後、「全キリ」会員総会)	

8月6日（木）

全体会1 青年たちの証言  
「わたしの思い、今ことばにできること 2009」

大人は何ができるのか？ を問いかけられるために、この企画は始まりました。「今だからことばにできること」に私たちは動揺し気づきを与えられてきました。自分が大切な存在として認められることに条件はありません。

今年も青年たちのことばに思いをよせ、考える機会といたしましょう。

全体会2 全国セミナー20回を記念して  
「私たちが学びつつ目指すもの」

20年前、全国各地から集まったキリスト教学校の教職員や公立学校のキリスト者教員、教会関係機関スタッフの「熱い思い」から始められたこの全国セミナーは、途切れることなく毎年夏、開催されてきました。その中で私たちは毎回、新たな出会いと新たな学びを与えられてきました。

第20回セミナーを迎えて、私たちが目指してきたものは何か、私たちが今後取り組むべき課題は何かを、『記念論集』（7月20日刊）を手がかりにしながら、一緒に考えたい。

8月7日（金）

全体会3 「なぜキリスト教学校で人権教育が必要か」  
発題者：ビセンテ・ボネットさん

（カリタス短期大学教授・カトリック司祭イエズス会・07年まで上智大学文学部教授）

「イエスの勧める正義への教育にかかわる要点を、教会は次のように指摘している」と、ボネットさんはくり返し教育関係者に伝えておられます。

- ・人間の批判力を養い、大衆宣伝や正義のごまかしの犠牲にならないよう、社会とその価値観を再考できる考察力を培うこと。そして、その価値観が人間のための正義を促進するものでなければ、それを放棄する勇気を育てること。
- ・その内容の中心は、必ず一人一人の人間を尊重し、より人間らしく育て、その尊厳を認めるものでなければならないということ。
- ・さらに、実際的なもので、正義の実践を目指すものであり、人類の将来にかかわることに関与し、真に人間的な社会をもたらすための教育を実現するということ。

これほど明確に指摘されたことを、キリスト教学校でいかに実現していくのか、そのスピリットを語っていただきます。

## 8月7日(金) フィールドワーク コース紹介

- ①と畜と私達の暮らしから考える東京の部落差別問題 (先着 20 人)
- ②東京で在日コリアンのルーツ/ルートをたどる (先着 20 人)
- ③多磨全生園とハンセン病資料館 (先着 20 人)
- ④江戸から現代まで、ヘテロセクシュアル、ホモセクシュアル、トランスジェンダーが織りなす新宿、性社会史ツアー (先着 20 人)
- ⑤DV、セクハラ の土壌としての管理教育を考える (先着 20 人)
- ⑥差別体験授業ワークショップ (室内分科会: 在日本韓国YMCA)

\*時間は 10:15~16:30。コース⑥は 13:00~15:00 です。

\*今回は分科会をフィールドワーク形式で行います。

\*申込の時に参加希望番号を第 2 希望まで明記してください。先着順となります。

\*7日(金) 全体会③終了後、グループごとに集まってから出発します。

\*暑さ対策のため、帽子や日傘、飲み物をご用意ください。

\*交通費、昼食代、入館料は参加費に含まれています。当日お支払いいただくことはありません。

### 8/7(金) フィールドワークコース①

#### 「と畜と私達の暮らしから考える東京の部落差別問題」

コーディネーター：水野松男さん (日本キリスト教協議会部落差別問題委員会)

品川食肉市場・芝浦と場に付設されている「お肉の情報館」の見学と「と場労働者」との交流から、東京の部落問題を考えます。牛・豚のセリを実際に見学した後、ビデオ「お肉の生産工場」(28分)を見ます。その後、芝浦と場で働いておられ、また小学校・高校などで人権学習の講師もされている高城順さん(部落解放同盟東京都連合会品川支部・全芝浦屠場労働組合)から、「と場労働や差別」についてのお話を伺います。その後、参加者がこの現場研修で感じたことや質問など、意見交換の場として学びを深めたいと思います。

#### <コース>

10:15 「在日本韓国 YMCA」 出発

11:00 牛の競りを見学(市場・配布の白衣と長靴を履いて見学)

12:00 昼食 (市場内の食堂の煮込み定食はおすすめ)

\*市場から徒歩1分の「カネカ畜産」で小売りされている肉は割安で質がいい。

13:00 豚の競りを見学、「お肉の情報館」見学

14:00 ビデオ「お肉の生産工場」(28分)

ビデオ「手むき作業の再現」~伝統的なと畜方法の再現ビデオ(30分)

15:00 高城順さんのお話と懇談

16:00 終了

## 8/7(金)フィールドワークコース②

### 「東京で在日コリアンのルーツ／ルートをたどる」

コーディネーター：佐藤飛文さん（明治学院東村山中高教員）

いま学校に通う在日コリアンは、日本生まれの在日三世・四世です。

国籍が「韓国」「朝鮮」の子ども、日本国籍の子ども、ダブルの子どももいます。

彼ら彼女らのルーツ、祖父・祖母たちのルーツをたどりながら、私たちの目の前にいる三世・四世の子どもたちの未来を考えます。

また、この歴史が、在日コリアンの子どもだけではなく、日本人の子どもにとっていかに大切なのかを、それぞれの学校での教育実践を紹介し合いながら考えたいと思います。

<コース>

10：30～ 「在日本韓国YMCA 2・8独立宣言記念室」見学

<JRで移動>

11：30～ 新宿コリアタウンめぐり

豪華な(?)韓式昼食

13：00～ 「高麗博物館」(新宿区大久保)見学

<地下鉄で移動>

14：30～ 「在日韓人歴史資料館」(港区南麻布)見学

<地下鉄、JRで移動>

16：00～ 在日本韓国YMCAでまとめ



## 8/7(金) フィールドワークコース③

### 「多磨全生園とハンセン病資料館」

コーディネーター：西浦昭英さん（聖学院中高教員）

場所：多磨全生園とハンセン病資料館 東京都東村山市青葉町 4-1-10

案内：森元美代治さん(元患者、IDEA ジャパン代表)

テーマ：ハンセン病の歴史と患者の苦難を学ぶ。

「救ライ」という美名のもと、キリスト教会やミッションスクールが行った人権侵害と、未だにその過去を検証できない体質を学ぶ。

<コース>

10：35 在日本韓国 YMCA 出発

御茶の水駅（丸ノ内線）⇒ 池袋駅（西武池袋線）⇒清瀬駅(バス) ハンセン病資料館

11：30 ハンセン病資料館の見学

12：30 昼食（園内の食堂か、仕出し弁当）

13：00 全生園見学

14：00 懇談

15：00 全生園出発

<懇談>でお話しをされる森元さんは、鹿児島県喜界島出身。岡山の長島愛生園にあった、世界でも唯一と言われる、ハンセン病療養所内の高校を卒業後、苦学して慶応大学に進学した。銀行に就職するも過労が原因で再発し、在宅治療を認めない「らい予防法」のため、退職し療養所暮らしを続ける。10年ほど前から、実名で著作を発表するなど、積極的に活動を始め、ミッションスクールでの講演も多い。多磨全生園を退園し社会復帰をとげた。カトリックの信者。

## 8/7(金) フィールドワークコース④

### 「江戸から現代まで、ヘテロセクシュアル、ホモセクシュアル、 トランスジェンダーが織りなす新宿、性社会史ツアー」

コーディネーター：土肥いつきさん(京都府立城陽高校教員)・すみすさん(第20回実行委員)

今年の「性の多様性」の分科会は、例年とは異なり、フィールドワークという形でおこないます。案内してくださるのは、三橋順子さんです。三橋さんは、ジェンダー&セクシュアリティについての社会・文化史の研究者として第一人者であると同時に、自らも女装家として活躍されています。昨年、その研究・実践の集大成として、講談社現代新書より『女装と日本人』を刊行されました。ありとあらゆるものがつまった「新宿」をあちこち歩きながら、過去と現在が織りなすあらたな「東京」を、セクシュアリティの側面から発見できる貴重な機会です。ぜひともたくさんのご参加をお待ちしております。

## 8/7(金) フィールドワークコース⑤

### 「DV、セクハラの土壌としての管理教育を考える」

コーディネーター：大嶋果織さん（NCC教育部）

身近な人（生徒や学生、同僚など）から、DVやセクシュアルハラスメント被害に関する相談を受けたことはありませんか。あるいは、もしかしたら、あなた自身が被害者や加害者であるかもしれません。

この分科会では、女性への暴力がなぜ後を絶たないかを教育の問題として捉え、自分を大切に、他者を大切に人権意識を教育の場でどのように育てていけるのかを共に考えたいと思います。

<コース>

10:20～ 在日本韓国YMCA出発 <JRおよび地下鉄で移動>

11:00～ 女たちの戦争と平和資料館見学

<タクシーで移動>

12:15～ 昼食

13:00～ 原爆展（ジョージ・オダネル氏写真展）見学（日本キリスト教婦人矯風会3階）

13:20～ 分科会（日本キリスト教婦人矯風会2階）

発題者 東海林路得子さん

（矯風会ステップハウス所長、女たちの戦争と平和資料館館長）

15:50～ 終了、<JRで移動>

16:30 YMCA帰着

## 8/7(金) フィールドワークコース⑥「差別体験授業ワークショップ」（室内分科会）

ファシリテーター：内海崎貴子さん（川村学園女子大学教員）

学校教育は、性差別／ジェンダーを再生産する装置としての側面を持っています。日常の教室に見られる教師の無意識・無意図的言動は、「隠れたカリキュラム」として子どもの人格形成に影響し、子どもの差別意識形成の一要因となるといわれています。「差別体験授業」のワークショップでは、参加者が児童に戻って、ジェンダー・バイアスに基づいた教室での教師の言動を追体験／疑似体験します。このような体験の後、参加者はグループに分かれて、児童生徒が教師の言動をどのように感じているかを話し合います。今回は、子どもの権利条約の学習も加え、日ごろの学校での教育活動をジェンダーの視点から再考していただきたいと思います。

\*場所：在日本韓国YMCA。時間：13:00～15:00 全体会②終了後から13:00までは自由時間となります。

8月7日（金）「全国セミナー20回記念」

特別講演会

辛 淑 玉さん「目覚めよ！」

辛淑玉（Shin Sugok）さんプロフィール

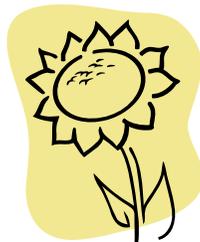
- ・ 人材育成コンサルタント、東京生まれの在日三世。
- ・ 小中高と一貫して不登校をつづけ、かたわら6歳のときからラベルの糊つけ、ヤクルト配達、新聞配達、皿洗い、パン屋のレジ、焼肉屋、モデル……など、あまたの職業を経験する。26歳のとき人材育成会社（株）香科舎設立。
- ・ 研修・講演活動のかたわら、新聞、雑誌、テレビ、ラジオなどで、日本社会／男社会／大人社会の病理を切開し直言する辛口コメンテーター。
- ・ 2008年、「被差別日系研究所（マイノリティの風）」を米国、日本、韓国で設立。
- ・ 著作  
『悪あがきのすすめ』（岩波新書）、『怒らない人』（角川新書）、  
『せっちゃんのごちそう』（NHK出版）、『不愉快な男たち！』（講談社）、  
『その手に乗ってはいけない！』（ちいさいなかま社）の他、  
共著として『女に選ばれる男たち』（太郎次郎社）、『ケンカの作法』（角川新書）、  
『いじめるな！』（角川新書）ほか多数。

辛さんは言う、

「弱者に優しい社会は、強者にとっても優しい社会なのだ。

そして、手を取り合ってこそ人間なのだ」と。

（『となりのピカソ』愛媛新聞社）



8月8日（土）

朝の祈り・証言  
佐藤美和子さん

（公立小学校教員・音楽専科・「ピースリボン」裁判原告）

「学校に心の自由をとりもどすために―裁判を闘ったことの意味―」

2000年、国立第2小学校の卒業式当日、事前の説明もなく「日の丸」が掲揚されたことに対し、「決して強制はされない」と授業で教えてきた佐藤さんは、その責任として「一人ひとりの自由は決して侵されない」と伝えるために手作りの「リボン」を着けて出席した。この行為が「職務専念義務違反」であったとして文書訓告処分を受けた。この処分とその後の「君が代」伴奏強要等による精神的苦痛の損害賠償を求めて、04年、東京都と国立市を相手取り提訴。地裁・高裁を経て、最高裁で08年11月上告棄却により敗訴。



全体会4「これからどうする・参加者からの声」

3日間のプログラムを通じてそれぞれで学んだことを分かち合います。前回のセミナーの分かち合いは、参加されたみなさんの中からパネラーとして発題していただく形式を採りました。今回も、みなさんの声や思いをうかがい、それに参加者全員で応えていきたいと考えています。お互いの応答の中で、自分が参加できなかったプログラムを知り、参加したプログラムを更に深めて、活発な交流ができれば…と思っています。



## セミナー参加申込要項

### 1 セミナー参加申し込みについて

人権教育に関心をお持ちの方、どなたでも参加できます。

### 2 申し込み先、問い合わせ先、締切日

(1) 参加申込締切日：2009年7月6日(月)

(2) 申し込みは、別紙「参加申込書1」「参加申込書2」を、一人一枚使用して、FAXまたは郵送にてお送りください。またはセミナーHP(<http://zenkiri.junyx.net>)から「参加申込書」をダウンロードし、Eメールに添付してください。電話での受付はいたしません。「参加申込書」は必要に応じてコピーして、またはHPからダウンロードしてご利用ください。

(3) 申し込み先

FAX：03-3203-0731

郵送：〒162-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18-21 NCC教育部

Eメール zenkiri2009@yahoo.co.jp

(4) 問い合わせ先：Eメール zenkiri2009@yahoo.co.jp

### 3 参加費振込先、締切日

(1) 参加費振込締切日：2009年7月21日(火)

(2) 参加費振込先：口座番号：00270-9-68784

口座名称：第20回人権教育セミナー実行委員会

\*個人参加の場合、できるだけ1名ずつご送金ください。複数名分を、代表者名で一度に送金される場合は、申込書にその内訳が分るような記載をお願いいたします。

\*参加費を、7/21(火)までに、上記の郵便振替口座に振り込んでください。「振替払込請求書兼受領書」をもって領収証とさせていただきますが、別途、領収証が必要な方は、申込用紙にその旨お書きください。

### 4 フィールドワーク(分科会)の申し込みについて

申込用紙に希望するコース番号をお書きください。

### 5 宿泊について

\*宿の用意はしていません。各自でお願いいたします。

\*在日本韓国YMCAに宿泊をご希望の方は、在日本韓国YMCA(電話 03-3233-0611)に直接お申し込みください。その際、「キリスト教学校セミナー参加者」と言うと、割引になります。シングル5,670円、ツイン10,395円、トリプル13,041円。朝食はプラス、一人200円。

### 6 手話通訳について

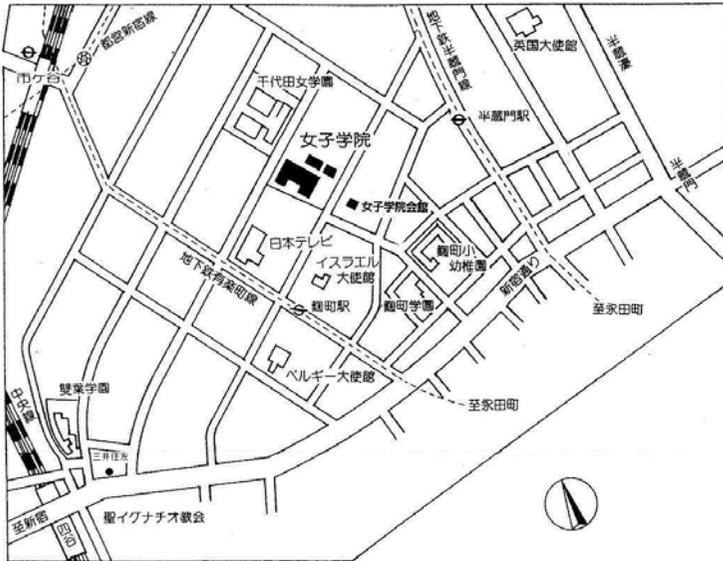
手話通訳は、全体会1と特別講演のみ参加申込書にて希望者がいらっしゃる場合にご用意いたします。

### 7 申し込みをされた方へ

お申し込みされた方には後日、メール便にて①参加確認書②第20回全国キリスト教学校人権教育セミナー『記念論集』を送付させていただきます。7月下旬になりますので確実にお受け取りになれる住所を申込書にお書きください。

## 会場案内

女子学院・女子学院会館の周辺地図



- 有楽町線麹町駅  
5・6番出口より徒歩3分
- 半蔵門線半蔵門駅  
5番出口より徒歩6分
- JR市ヶ谷駅・都営新宿線市ヶ谷駅  
2・3番出口より徒歩8分
- 南北線市ヶ谷駅  
2・3番出口より徒歩10分
- JR四谷駅  
四谷口より徒歩12分
- 南北線四谷駅  
5番出口より徒歩13分
- 丸の内線四谷駅より徒歩15分

在日本韓国YMCAの周辺地図



- JR水道橋駅 東口より徒歩5分
- JR御茶ノ水駅 御茶ノ水橋口より徒歩9分
- 東京メトロ神保町駅 A5出口より徒歩7分

J R水道橋駅東口徒歩5分 神保町駅A5出口徒歩7分